

# 第4回みよし未来環境会議

## ワークショップ かかわらん

2023年10月21日(土)13:30~16:30

会場 三次市立神杉小学校体育館

参加者 谷藤拓真、岩倉伊吹、梅木亮汰、兒櫻浩介、  
下岡快成、井上海太

欠席者 神田日向、白根瑞紀

講師 藤山浩 ((一社)持続可能な地域社会総合研究所)

第4回みよし未来環境会議は、神杉地区の自治会連合会とコラボしたレゴワークショップでした。ワークショップでは神杉地区の小学生たちと一緒にレゴブロックを使って2050年の三次の風景を創りました。「ミツバチ」と共生する地域」「水の循環”川”と共生する地域」「未来のワイナリー」「未来のエネルギーシステム」「未来の中心市街地」「未来の交通システム」の6つのテーマから選び、これまで本会議で学んできたことを盛り込みながら作品を創りました。アンバサダーたちの作品には未来の三次に受け継いでいきたい風景、自然と共生するまち、無駄を省いた効率的でエコなテクノロジーなどが表現されており、実現したい三次の未来像を創ることができました。



事務局  
藤山氏より

未来を具体的に形にしていく中で、様々なアイデアや思いが引き出されます。そして他の作品を見てまた新たな発想の輪が広がります。



### 何を創ろう？

持続可能で楽しい地域の風景を考えて、それをレゴブロックで形にしていく。人形も使ってリアルな風景にすることがポイント！

13:30



### 創作スタート！

未来の三次はどのような風景だろう？と想像を膨らませます。何を作ろうか、どの部品を使おうか悩みながら創作スタートです。

13:45



### こだわりの作品

約2時間かけてこだわりの作品を創りました。創りたいものをレゴで表現することは難しく、試行錯誤の連続でした。

15:05



### 三次の地図の上に置いて

完成した作品は三次市の航空地図の上に置きます。ブドウ園はワイナリーの上へ、というようにテーマに応じた所に置きます。

16:30



### 発表タイム

一人ずつ何を創ったのかと、作品を創る時に工夫したこと、作品に込めた思いを発表しました。



### 最後は全員で集合写真

最後に神杉地区のみなさんと一緒に集合写真を撮りました。前の机にはみんなが創った作品が並んでおり、未来の三次の風景が広がっています。

## サステナアンバサダーから一言

※欠席者は後日フォローを行い、当該回の内容についてコメントをいただくようにしています。



神田さん

未来の町を想像することで、僕たちが取り組まないといけない課題などが見え、とても良い勉強になりました。



谷藤さん

どんな未来の町になるかを予想することで課題が見えてきてとても良い勉強になったし、楽しかったです。



白根さん

三次の魅力である川で様々なことが行われ、三次に住みたいと思う人が増えて、人と自然が共存する社会になってほしい。



梅木さん

前回のフィールドワークの知識を活かして、「三次がこうなったらいいな」を思い描き形にすることができました。



岩倉さん

これから地元の人達の見方も用いて未来の姿を考え、新しいものばかり作らず、元あったものを残していきたいです。



兒櫻さん

実際に理想を作ってみるということは貴重な経験でした。今回考え創ったものを実現していきたいです。



下岡さん

難しかったけれどレゴで理想の街を創ることができました。柔らかく考えて視野を広げることが大切だと分かりました。



井上さん

自分の中で思っていることを上手くブロックで表すことができましたと思います。